



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2022/10/29 Rd-9 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：22°C 出走台数：21台

土曜日に Rd9、日曜日に Rd10、の 2 レース制で開催される最終第 7 大会 JAF グランプリ。緊迫の予選終了から息つく暇なく、決勝レースが行われる。

2 レース制の今大会でも、給油禁止、タイヤ交換義務ありというルールで行われる。

快晴の鈴鹿サーキット、気温 22 度、メインストレートに吹く追い風は、午後になってやや強さを増す中スタートの時を迎える。

牧野選手はスタートでポジションを上げるが、S 字の競り合いでダウンフォースが抜けポジションを落としてしまう。大津選手は抜群の蹴りだしで 3 台をオーバーテイク。13 番手でオープニングラップを周回する。

ピットストップウィンドウが開いた 10 周目、チームは前後ライバルの動きを見て、11 周目に自己ベストを更新しながら走行する牧野選手をピットに呼ぶ。

ライバルのピットインで前が開けた大津選手は、2 周遅らせた 12 周目にピットイン。

チームはミスなく 2 台をコースに戻した。

レース中盤から終盤、牧野選手は実質の 6 番手、大津選手は 10 番手を走行しながら、ステイアウト組とのタイム差を削るべくプッシュを続けるも、結果牧野選手 7 位。大津選手は 13 位でレースを終える事となった。

5：牧野任祐 7 位 HONDA 勢 5 位

スタートはとても良かったのですが、位置取り悪く多少混乱もあり順位を落としてしまいました。ピットインのタイミングや戦略も良かったです。

しかしトップ集団とのラップペース差を詰められず、順位を上げることが出来ませんでした。

明日は第 10 戦としてもう一度予選と決勝があります。予選も決勝も今日の結果をチームと共に検証し、明日のレースで挽回したいと思います。

6：大津弘樹選手 13 位 HONDA 勢 8 位

スタートはとてもよくて、13 番手まで順位を上げることができました。

しかし、予選で感じていたグリップを引き出せない状態は決勝でも変わらず、特に中速コーナーでの最低スピードを上げることが出来ず、ロスの大きなつらいレースとなりました。

今日の結果を踏まえて、明日もう一度予選と決勝レースを戦えるので、この問題をチームとよく解析し、気持ちも切り替えて臨みます。